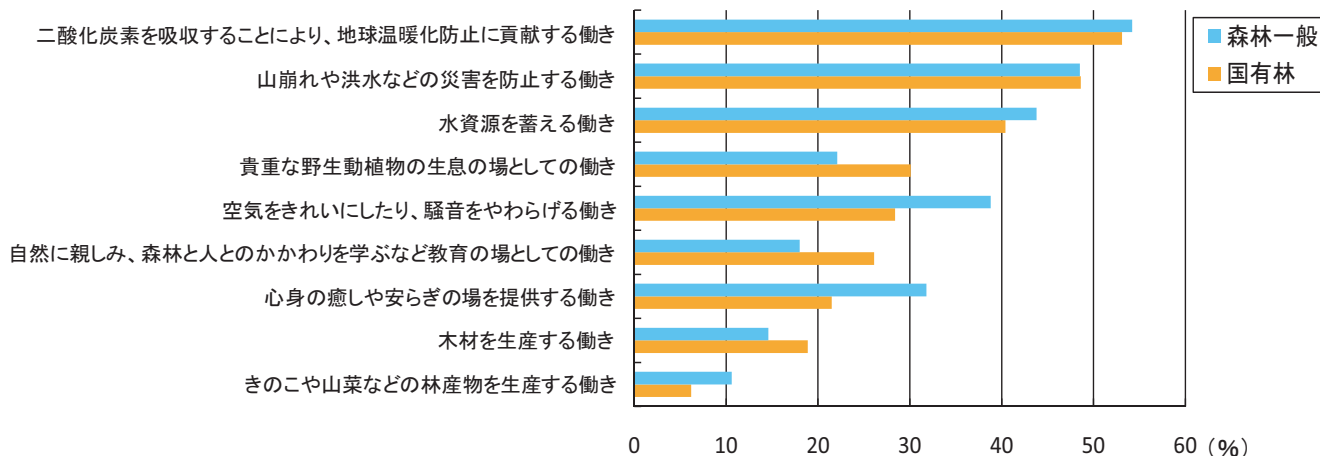


## 第V章 「国民の森林」<sup>もり</sup>としての国有林野の取組

### 1 国有林野に期待される役割

- 国有林野は、我が国の森林面積の約3割を占め、土砂崩れの防止、洪水の緩和、地球温暖化の防止など重要な役割を果たしており、国民生活にとって欠かすことのできない共通の財産。
- 国有林に期待する働きとして、「地球温暖化防止」、「山崩れ等の災害防止」等に高い期待。

#### 「森林一般に期待する働き」と「国有林に期待する働き」



資料：内閣府「森林と生活に関する世論調査」（平成19年5月）

注：回答は選択肢の中から3つまで選ぶ複数回答であり、期待する割合の高いものから並べている。特になし、わからない、その他を除き掲載している。

### 2 「国民の森林」としての管理経営

- 平成20年12月、国有林野の管理経営の基本方針である「国有林野の管理経営に関する基本計画」を新たに策定。①公益的機能の維持増進を旨とした管理経営の推進、②森林の流域管理システムの下での管理経営、③国民の森林としての管理経営、④地球温暖化防止対策の推進、⑤生物多様性の保全の各項目を基本方針としたところ。
- 国有林野には、国土保全上重要な森林が多く存在しており、約9割を保安林として指定。また、国民が安全で安心できる暮らしを確保するため、台風等により荒廃した地域を早期に復旧させるための治山事業を計画的に実施。
- 平成20年6月14日に発生した岩手・宮城内陸地震では、国道の被災により孤立化した地区の交通を早期に確保するため、迂回路として国有林野内の林道を緊急に整備したほか、二次災害防止のための土石流センサーの設置等の応急対策を迅速に実施。さらに、国有林野事業の組織を活かし、経験豊富な治山技術者等を全国から被災地に派遣。

#### <事例：地震により孤立化した地区への交通確保>

東北森林管理局は、岩手・宮城内陸地震により通行止めになった国道342号線の迂回路<sup>かつらざわ</sup>として、桂沢林道、東桂沢林道（岩手県一関市<sup>けんびちよう</sup>巖美町）等を緊急整備した。迂回路は、孤立した祭時地区<sup>まつるべ</sup>への交通を確保するために整備され、地区住民の生活路線として活用されるなど生活を守る一翼を担っている。



- 京都議定書の目標達成に向けて森林吸収源対策を着実に推進するため、平成19年度には前年度の2倍に当たる約12万6千haの間伐を実施。また、森林土木工事における間伐材の積極的な利用や森林環境教育の場における地球温暖化防止に果たす森林の役割について積極的に説明。
- 生物多様性の保全等に向け、原生的な森林生態系等が多く残されている貴重な森林については、保護林や保護林相互を連結する緑の回廊を設定。また、保護林の設定後の状況変化を客観的に把握するためのモニタリング調査を実施。

### ＜事例：森林土木工事における間伐材の積極的な利用＞

コンクリート構造物の型枠には、一般的に鋼板や輸入木材等から製造される合板を使用することが多い。近畿中国森林管理局は、谷止工等の上流側の型枠として、これまで十分に利用されなかった間伐材を有効活用することで、完成後の残置による撤去手間の省略や炭素固定等の効果を期待している。



## 保護林の設定状況

(単位：箇所、千ha)

| 名称     |             | 目的                              | 箇所数 | 面積  |
|--------|-------------|---------------------------------|-----|-----|
| 保護林の種類 | 森林生態系保護地域   | 森林生態系の保存、野生動植物の保護、生物遺伝資源の保存     | 29  | 495 |
|        | 森林生物遺伝資源保存林 | 森林生態系を構成する生物全般の遺伝資源の保存          | 12  | 35  |
|        | 林木遺伝資源保存林   | 林業樹種と希少樹種の遺伝資源の保存               | 324 | 9   |
|        | 植物群落保護林     | 希少な高山植物、学術上価値の高い樹木群等の保存         | 369 | 182 |
|        | 特定動物生息地保護林  | 希少化している野生動物とその生息地・繁殖地の保護        | 37  | 21  |
|        | 特定地理等保護林    | 岩石の浸食や節理、温泉噴出物、氷河跡地の特殊な地形・地質の保護 | 35  | 35  |
|        | 郷土の森        | 地域の自然・文化のシンボルとしての森林の保存          | 35  | 4   |
| 合計     |             |                                 | 841 | 780 |

資料：林野庁業務資料

- 注：1 平成20年4月1日現在  
2 計の不一致は、四捨五入による。

### ＜事例：小笠原諸島森林生態系保護地域における新たな利用ルール＞

関東森林管理局が導入した新たな利用ルールでは、森林生態系保護地域に立ち入る場合に、希少な動植物の生息・生育環境の保全と利用に関する講習の受講や入林許可を受けたガイド等の同行を義務づけている。このようなルールの導入は、全国の森林生態系保護地域で初めての取組であり、生態系への影響の軽減が期待されている。



### ＜事例：四国山地緑の回廊におけるモニタリング調査＞

四国森林管理局は、緑の回廊の適切な整備や管理を進めるため、平成15年3月に設定した「四国山地緑の回廊」(石鎚山地区・剣山地区)でモニタリング調査を実施している。このうち自動カメラによる野生生物の撮影では、四国において絶滅のおそれのあるツキノワグマの生息などが確認された。これらの調査結果を踏まえ、緑の回廊の適切な保全・管理を進めている。



- 我が国の国産材供給量の約2割を占める国有林野は、国産材の安定供給に重要な役割。大口需要者への「システム販売」により間伐材等の需要拡大に努めているところ。また、歴史的木造建造物や各地の祭礼行事等、次代に引き継ぐべき木の文化を守るため、国民参加による「木の文化を支える森づくり」により、木の文化を支える資源や郷土樹種の長期的な育成等を推進。
- 「国民参加の森林づくり」を推進するため、教育関係者やNPO等へ「遊々の森」、「ふれあいの森」、「法人の森林」の活動フィールドの提供等を実施。
- 「国有林モニター」を通じた様々な意見の把握等により、国民の声を反映した「国民の森林」としての管理経営を推進。

#### <事例：流域の間伐を推進する民有林と連携した取組>

近畿中国森林管理局は、島根県等と民有林・国有林を一体とした森林整備協定を結び、森林共同施業団地を県内各地に設定している。所有形態の異なる森林をまとめ、一体となった路網の整備や高性能林業機械を活用して低コストで効率的な間伐に民有林・国有林が連携して取り組んでいる。



低コスト路網の開設

#### <事例：「首里城古事の森」の活動>

沖縄森林管理署は、首里城の復元、修復に使用されているイヌマキ等の貴重な琉球の木の森づくりを進めていくため、平成20年11月、「首里城古事の森育成協議会」との間で「首里城古事の森づくり活動に関する協定書」を締結した。沖縄県国頭村でイヌマキ200本を植樹し、木の文化の継承に貢献する森づくりに取り組んでいる。



地元児童が参加した植樹活動

#### <事例：「遊々の森」を活用した森林環境教育の取組>

平成20年7月、山形森林管理署最上支署は、山形県舟形町教育委員会と遊々の森の協定を結び、ブナの二次林を「ふながた薬師の森」として設定した。最上支署と教育委員会、地域の環境学習支援団体の三者が連携し、児童・生徒等を対象とした森林環境教育に農山村地域の文化を取り入れた活動を行っている。



### 3 国有林野事業における改革の取組

- 国有林野事業では、自然環境の保全など公益的機能重視の管理経営を行う中で、林産物の販売等による収入確保、組織・要員の合理化、民間委託による森林整備事業の効率的な推進等により財務の健全化に努め、平成16年度以降、新規借入金はゼロ。
- 「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革の推進に関する法律」において、平成22年度末までに国有林野事業の一般会計化、一部独立行政法人化を検討。一方、独立行政法人緑資源機構は、平成20年4月1日に解散。これまで行ってきた水源林造成事業は、経過措置として独立行政法人森林総合研究所に承継、その後、国有林野事業の一部を移管する独立行政法人に引き継ぐこととされたところ。これらについては、国有林野が果たしている公益的機能の重要性を踏まえつつ、幅広い観点から慎重に検討。